

# 未来の翼2005 つがる交流キャンプ

7月27日～30日、「未来の翼2005 つがる交流キャンプ」を青森県鶴田町で実施しました。

今回は、昨年この事業に参加した小・中学生21名とジュニアリーダーの高校生5名が訪問し交流を深めました。

飛行機・モノレール・新幹線などを乗り継いで青森駅に降りた子どもたちは、構内を吹き抜ける風に、「7月下旬にもかかわらず「寒い、寒い。」の言葉を発していました。

子どもたちは、鶴田焼制作、カヌー・ボート体験、岩木山登山、いかめしづくり、五所川原・弘前・青森のねぶた見学など盛りだくさんのプログラムを通して、文化や習慣の違いを肌で感じていました。

今後は、この交流事業で体得したことを、学校生活や地域活動などで大いに活かしてくれることを期待します。



いかめしづくりに挑戦



ねぶたの前で記念撮影



津軽富士見湖でカヌー体験

植物の説明を受ける参加者



## 夏休み植物教室

7月31日、夏休み植物教室を県立北薩広域公園で開催しました。

本町出身の満尾正廣先生を講師に迎え、「ゼンマイや」「クサギ」など身近にある植物の名前や意味の説明を聞きながら、標本の作り方を教えていただきました。

当日はあいにくの雨でしたが、雲の切れ間に、公園内の植物を親子で散策しながら採集しました。普段目にするけれど名前を知らない植物など、みんな思い思いの植物を採取して、先生に名前を聞きながら楽しく採集していました。

## こども学芸員講座

8月17日・18日、「こども学芸員講座」を開催しました。

現在、県埋蔵文化財センターが行っている尾付野山遺跡の発掘体験や別府原古墳の調査、鹿兒島の伝統楽器「天吹(てんぶく)」を作る体験講座、歴史資料センターの仕事などを体験しました。

参加した小・中学生は、暑い中での発掘体験や古墳調査に真剣に取り組み、自分で作った笛を鳴らそうと頑張っていました。



遺跡の発掘を体験する子どもたち